



令和6年度 校長室だより 第1号



他者(ひと)のために 一歩先の自分へ

「他者(ひと)のために、一歩先の自分へ」の実現のために三つの「C」を大切に
「Change」「Communication」「Challenge」

校長 富川 麗子

東京都立東村山高等学校に校長として着任して3年目を迎えました。

4月1日には、14名を新しく東村山高校のスタッフとして迎え入れました。昨年度からいる教職員と力を合わせて、本校生徒が、東村山高校で学んで良かったといえるよう、全力で取り組んでまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、4月8日(月)には着任式・始業式を行い、9日(火)には入学式を挙行し、197名の生徒が入学いたしました。御多用の中御臨席くださいました御来賓の皆様をはじめ、本校を支え、応援して下さる皆様に心より感謝申し上げ、入学式式辞の一部を紹介し、年度当初の学校長挨拶とします。

(前略)本校では、生徒の皆さんが豊かな心を持ち、進んで社会の発展に貢献できる人間へと成長していくことを期待しています。皆さんが、本校に入学するに当たり、目標をもった学校生活に向けて大切となるキーワードは次の3つのCです。

それは、皆さん自身が、「Change」「Communication」「Challenge」という3Cを意識した学校生活を送るということです。この3Cを意識することで、皆さん自身の成長につながり、また互いに信頼しあった仲間づくりをすることができ、さらには、将来に対する目標設定などに結びつくことができます。

まずは「Change(変化する)」です。

私たちは常に変化し続ける社会に生きています。柔軟な思考と行動力を持ち、新しい環境や状況に対応する力を養うことが必要です。

変化しようとする気持ち、すなわち自分はこれから変わるぞという気持ちをもつことは、皆さん自身の成長の源となっていきます。本校という新たな学習環境で学び、学びながら自らアイデアを出して仲間に関わりかけを行い、積極的に学校生活を送ることで、皆さん自身が成長していきます。

本校は、教育目標「愛と創造」と共に、スローガン「他者(ひと)のために、一歩先の自分へ」を掲げています。その実現のために、「基礎学力」、「キャリア設計」、「責任ある態度」等の力を伸長する教育活動を取り入れています。学習成績を向上させるためには、勉強方法や学習時間の確保を行い、先生方への質問や相談するなど、日常の学習する取り組み方を変えていくことも必要です。

次に「Communication(伝える)」です。

コミュニケーションは人間関係を築く上で欠かせません。思いや意見をしっかりと伝えることで、より良い仲間関係を築くことができます。また、コミュニケーションは人とのつながりを深め、多様な異なる意見を理解するための重要な方法です。

人は自分一人で生きているのではなく、周囲の支えがあってはじめて、生きることができる存在です。高等学校は、人と人との絆をつくる大切な場所でもあり、皆さんには学習や学校行事、部活動等をとおして、人の痛みが分かり、常に相手の立場に立って物事を考え、感謝の気持ちをもって行動できる人になってもらいたいと思います。自分を他者に置き換えて考えるという想像力を働かせることは、コミュニケーションの基本です。新しい仲間に関心をもち、認めるべきことは謙虚に認め、吸収すべきところは素直に吸収しようとする姿勢をもってほしいと思います。そして、相手に「自分を伝えていく力」を高めてほしいと思います。

最後に「Challenge(挑戦する)」です。

皆さん自身が、何事にも挑戦しようとする気持ちをもつことで、新たな可能性を見出すことができます。目の前に困難なことが起きたとしても、家族、先生方、友人など多くの方々に相談し、また本などを読んで学び、勇気をもって困難に立ち向かうことで、必ず何かを得ることができます。その積み重ねで自信が生まれてきます。

(中略)皆さんも、自分の興味や情熱に向かって挑戦してほしいと思います。失敗をしてもそこから学ぶことができます。何もしなければ、何も学ぶことはできません。新しいことにチャレンジすることで、自分の可能性を広げ、将来の道を切り拓くことができます。

皆さん、今からこの3C、「Change」「Communication」「Challenge」を心に刻み、これからの本校での学校生活に取り入れていってください。(後略)

